

災害事例 (不休業23)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	有り
年月日(曜日)時刻:場所	2022年9月12日(月)	12時	: プラント内
職種:年齢:経験	作業員	: 53才	: 31年
発災時の作業内容	<p>タンクポンツーン内部作業後に現地で休憩中、体調不良になり、熱中症と診断された(点滴投与により体調回復)。</p> <p>(熱中症対策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・WBGT値28℃以上であったため、30分に1回の休憩の取得 ・空調服を着用し、個人用ペットボトルを携帯 		
傷病名:部位:程度	熱中症	: —	: 不休業
事故の型:起因物	高温・低温の物との接触	:	環境等
原因	不安全な状態	<ul style="list-style-type: none"> ・高温環境下での作業であった。 	
	不安全な行動	<ul style="list-style-type: none"> ・高温環境下(タンクポンツーン内部)で休憩を取っていた。 	
	安全管理上の欠陥	<ul style="list-style-type: none"> ・熱中症予防対策の視点での作業環境の確認が不十分だった。(WBGT値、気温) ・体温を下げる対策が不足していた。 ・作業前および作業中の体調確認が不十分だった。 	
再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> ・WBGT値が28℃以上は、スポットクーラーなど準備し、休憩環境の改善を図る。 ・監視人が10分毎に入槽者全員に声をかけ、30分に1回退出させることをルール化する。 ・退出休憩時には各自体温を測定し、高い場合には作業の中止等の判断を行う。 		
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施			有り

